

## ◆打出集会所【平成29年4月19日(水) 参加者数21人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
1	保健センターの運動室に日が照るとまぶしいため、お願いしてフィルムを貼ってもらったが、まだまぶしいため、もう1メートルほど上にしてほしい。	
2	川西運動場のトイレが男女共同であり、男女が一緒にいるタイミングで入ることができず困惑している。 また、運動場側からもトイレに入れるようにしていただきたい。昼間はたくさんの方が道路で待っており、通行の邪魔になっている。改修前は運動場側からも入ることができた。	使い勝手を考えます。 →工事にあたり、利用者のご意見を受け、関係者との調整の結果、今の形状となっています。
3	大東公園の植木を削り、木の枠を作ってもらったが、それを取ってしまったため、公園の外へボールが出てしまい、子どもの交通事故につながるおそれがある。外へ子どもが飛び出さないように、内側にコンクリートか何かで遮へいができないか。	低いフェンスで対応できるか検討します。 →コンクリートで壁を作ると見通しが悪くなるため、現状の生垣を適切に管理することで対応します。
4	打出浜小学校でクォーターテニスをする際、終了後に掃除をするが、掃除機が傷んでいるので直してほしい。	→打出浜小学校で活動されているコミュニティ・スクール所有の掃除機は既に修理し、掃除機内のゴミをこまめに捨てていただくようコミスク内で周知していただいています。
5	県営住宅に住んでいるが、禁止されているのに犬を飼っている人がまだいる。一度調査に来てほしい。昨年言ってから、調査に来てもらっていない。	管轄である県に報告済みであり、県が調査を行っています。
6	南宮浜公園において水はけがよくなるよう工事をしてもらったが、雨が降るとドロドロになる。歩行者用通路の設置をお願いしたが、子どもが遊ぶのに危ないと作ってもらえなかった。また、南宮公園も、改修後に広範囲の水たまりができるようになった。雨が降っているときに調査に来て、対応策を講じてほしい。	雨の日に調査します。 →南宮公園については、平成29年度の秋頃までに、水たまりを解消できるよう必要な対策を実施します。南宮浜公園については、今後の状況を見ながら、対策が必要な場合には検討いたします。
7	臨港線の松の木をきれいに剪定していただき、ありがとうございます。非常に安全になり、安心しました。	
8	大東公園のトイレを早く改装してほしい。トイレの清掃時に出た水で、周囲に水たまりができているが、公園自体の水はけも悪い。	市内の公園のトイレは計画的に改築、改装しています。 大東公園のトイレは原案を作成し検討しているところです。今後、対応していきます。
9	広報あしやが以前より非常に読みやすくなった。職員の写真と一緒に、行っている事業が見えて、とても良いと思う。これからもさらに工夫していただければと思う。	

## ◆打出集会所【平成29年4月19日(水) 参加者数21人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
10	<p>市民提案型事業への補助制度のうち、市民活動団体への補助は、具体的にどのように想定しているのか。</p> <p>選ばれた団体の事業を、将来的に市と一緒に展開していくことはあるのか。</p> <p>社会教育関係登録団体への補助対象は15団体であり、市民提案型事業への補助対象は3団体と数が異なるが、将来的に予算等を調整するという事なのか。</p> <p>選ばれた団体に市民の前でプレゼンテーションしてもらう場についても検討してもらいたい。</p>	<p>対象団体は3種類を想定しています。自治会やNPO法人など地域の一定のエリアで活動をされている団体または、代表者と構成員の合計が5名以上かつ構成員の3分の2が市内在住または在勤である団体であれば補助の対象になります。</p> <p>企画書を提出いただいた後、対象事業になるかどうかを審査します。また、既に取り組んでおられる事業を拡充する場合も補助対象です。予算の都合上、初年度は3団体とさせていただきます。</p> <p>社会教育関係登録団体への補助については、1団体あたりの補助金額が違うため、今後検証してまいります。</p> <p>→社会教育関係団体の公募提案型補助金制度については、応募状況などをみて、今後の補助金額や交付団体数を考えていきます。</p>
11	<p>待機児童解消について、数十年先まで見込めるものなのか。全ての就学前の子どもたちの最善の利益につなげることが可能なのか。大きな改革であるため、最善の利益は何なのかということ調査して、把握したほうがよい。</p>	<p>20年、30年後には今の状態よりも、はるかに見通しが立ってくると考えています。公立や民間の幼稚園・保育所・認定こども園が、保護者の方のニーズに合った形で選択できるようになると考えています。幼稚園が統合されることによって、例えば幼稚園が遠くなる等、様々なご意見があると思いますが、今考えられる中ではベストの案だと思っております。</p>
12	<p>スマホサミットの頻度と規模を知りたい。</p> <p>スマホを持ってない家庭、使わない家庭に対してどのように配慮しているのか。</p> <p>使い方については、子どもたちが議論するより、こういう使い方はだめだと上から指導するほうが分かりやすい。</p>	<p>スマホサミットは年3回開催されています。スマートフォンの使い方のルールについて、小学生と中学生の子どもたちが集まり、議論しています。それを市が後押しするという事業です。新たな取組であり、市内外から高い評価を受けています。</p>
13	<p>芦屋市の子どもは学力の平均点が高いが、昔に比べて最低点と最高点の幅が広がっているのではないのか。どのように検証しているのか。</p>	<p>点数の分布状況を見なければいけないと思っています。授業の内容を理解しにくい子どもたちへのフォローはもちろん、理解の早い子どもたちはさらに伸ばしてあげたいと考えています。</p>
14	<p>タブレットの導入についてどう考えているのか知りたい。国の方針によらず、芦屋独自の考えでタブレットの使い方を定めるべきではないか。</p>	<p>これからの教育のツールとして、各学校に40台ずつ配置しています。タブレットが万能だとは考えておらず、今までの授業の方法と照らし合わせて授業づくりをしていきます。</p>
15	<p>「市立幼稚園・保育所のあり方について」の説明会の日程連絡がなかった。なぜ連絡がないのかと申し上げたところ、ホームページに出ているという返事だった。ホームページや広報を見ろという扱いではなく、もう少し丁寧に対応してもらいたい。</p>	<p>説明会を多くの会場で行い、幅広くご説明していますが、早急にご説明する必要があると判断したため、周知について丁寧さが欠けていたことは申し訳ございません。今後は丁寧な周知に努めてまいります。</p>

## ◆打出集会所【平成29年4月19日(水) 参加者数21人】

- ★調査結果等補足説明については、当日発言内容と区別するため【→朱字】で表示しています。
- ★完了事項については、【→青字】で表示しています。
- ★いただいたご意見等はそのまま記載していますので、実際の状況等と異なるものもあります。

No.	質問・意見等	回答等
16	<p>認定こども園をつくる場所は、2箇所とも、地震による津波が起こったときには逃げなくてはいけない場所である。特に西蔵の認定こども園の場所は、市が指定している浸水指定地域である。西蔵町の認定こども園予定地の近隣の方に認定こども園建設のことをきちんと説明すべき。説明会のタイトルが「市立幼稚園・保育所のあり方について」というのはおかしい。きちんと「幼保改革、民営化、幼稚園と保育所の統廃合」ということで出すなら分かる。宮川幼稚園も伊勢幼稚園も改装してきれいにしたのに、なぜ廃園にするのか。どうしてあるものを利用して施設をつくらないのか。</p>	<p>「子どもの最善の利益は何か」ということについては、ひとつの価値観によるものではないと思います。今回、行政側が最大限尊重させていただいたのは、2015年以降新たに施行された新制度の中でも、芦屋市で357人の待機児童がいるということです。</p>
17	<p>ハートフルのお年寄りへの見守りの一環である手渡し弁当が、年間数百万円の赤字ということで、なくなってしまった。お年寄りについても少し考えてほしい。</p>	<p>→配食サービスについては、民間事業者によるサービス(栄養バランスのとれたメニューで、安否確認も行う低価格なサービス)が充実し、市の福祉サービスとしての役割を一定終えたものと判断し、平成27年3月末をもって事業を終了(治療食の配食サービスを除く)しました。何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>
18	<p>「市立幼稚園・保育所のあり方」が待機児童解消が目的とされるなら、計画を進める前に、現状の待機児童全数の確認・調査をするべきだと思う。課題に対し、「現段階で市として何ができるか」を詰めなければ、全ての就学前の子どもたちの利益にはつながらないのではないか。</p>	<p>→子育て支援事業計画策定において、アンケート調査を実施し、必要な定員確保数を算出しています。それらを踏まえ、市ができることを本計画において発表したものです。</p>
19	<p>少子高齢化を問題だと思っている。防災の観点からしても、高齢者・要支援者比率が今後増えていけば、人口構成上、災害時支援が満足に行えるか心配である。中・長期的な視点で、具体的にどんなことができるかという考えを知りたい。</p>	<p>社会全体の仕組みが変わり始め、地域のあり方も変わり、防災関連も変えていく必要があると考えています。</p>